

各 位

2022年9月28日

株式会社ライトアップ
(コード番号：6580 東証グロース)

いちよし経済研究所によるアナリストレポート発行のお知らせ

いちよし経済研究所から、アナリストレポートが発行されましたので、お知らせいたします。

■アナリストレポート発行企業情報

(企業名) 株式会社いちよし経済研究所

(所在地) 東京都中央区八丁堀一丁目5番1号 オリックス八重洲通ビル2階

(企業HP) <https://www.ichiyoshi-research.co.jp/>

ライトアップ (6580、東証グロース)

サービス業 / ユニバース銘柄

伊藤 研一

23.3期1Q決算を踏まえ、各期の業績予想を大幅に下方修正するが、BPOへの期待は不変

株価(9/14)	1,067円
発行済株式数	5,274千株
時価総額	56億円
株式売買代金(25日平均)	1.49億円
23.3期予想PER	11.3倍
24.3期予想PER	8.7倍
22.3期実績PBR	2.3倍
23.3期予想PBR	1.9倍
22.3期実績ROE	24.6%
23.3期予想ROE	16.9%
23.3期予想配当利回り	-%
22.3期自己資本比率	78.6%

発行済株式数は自己株式を含まない

事業内容

同社は、「全国、全ての中小企業を黒字にする」を理念に掲げ、「人」「モノ」「金」の支援を行うITサービス企業である。地方金融機関や、自治体のWebサイト等に設置されている助成金自動診断システム「Jシステム」や、助成金、補助金の申請から、活用支援を行うコンサルティングサービスである「Jコンサル」、またITツールの共同仕入れネットワークである「JDネット」といったサービスを提供している。収益構造は、各サービスの月額利用料、コンサルティングフィー、JDネット経由のITツール販売手数料で構成されている。

売上・営業利益構成比(22.03期)

	売上	営業利益
DXソリューション	86.1%	116.1%
コンテンツ	13.9%	12.9%
全社消去	-%	-29.0%



- ・23.3期1Q決算は、当研究所予想を大幅に下回り、ネガティブ
- ・各期の業績予想を売上高、利益共に大幅に下方修正する
- ・コンサル収益獲得及び、BPO事業のスケールに期待であろう

23.3期1Q(4-6月)決算を踏まえ、各期の業績予想を売上高、利益共に大幅に下方修正する。依然としてBPOの拡大に対する期待は大きい一方で、過年度と比較すると主力サービスであるJシステム及びJDネットの伸びが鈍化していることや、コンサル売上高の計上までのリードタイムが長期化していることを考慮した。

23.3期1Q決算は、売上高4.8億円(前年同期比22.2%減)、営業利益0.0億円(同99.5%減)となり、当研究所予想(売上高7.0億円、営業利益1.5億円)を大幅に下回った。コロナ禍における地方経済の低迷を背景に、Jシステム及びJDネットの新規顧客から得られる初期費用(50万円~)が減少したことや、コンサルメニューの変更に伴い、受注から売上高計上長期化したこと、現場の評価制度を補助金中心の件数ベースに変更した影響、が主因。コロナ禍の助成金拡大を追い風に高成長が続いてきたが、今年度はやや逆風となっているのであろう。

23.3期業績予想は、売上高、利益共に下方修正する。売上面は、Jシステム及びJDネットの初期費用、コンサル売上高、BPOの見通しを下方修正したことが主因。なお、JSaaS(インクルード、月額3,000円)は順調に継続社数が増加しているが、単価が低いことから業績貢献は限定的であろう。利益面は、売上高と比較して、小幅下方修正に留める。会社側は、BPO立ち上げに向けた先行投資を考慮している模様だが、1Q決算を踏まえ、やや保守的な想定と判断した。

24.3期以降は、3割前後の増収増益を予想する。当研究所では、助成金の拡大を背景としたJシステム中心の成長フェーズから、BPO中心の成長フェーズへ移行し、国の財源に依存しない安定成長モデルへの転換に注目している。同社の強みは、Jシステムを利用して、補助金・助成金を検索する中小企業から、月間数千件の問い合わせがあることであろう。膨大な既存顧客データベースを活かし、人手不足を解決するBPOを拡大させることで、新たな成長フェーズ入り期待されよう。ネットキャッシュ(24億円)も潤沢であり、BPOのリソース確保に向けた積極的な先行投資に期待であろう。

決算期 単独	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	修正EPS (円)	1株当り (円)	
21.3	2,134	15.3	602	134.2	596	132.8	431	181.7	82.4	0	
22.3	2,777	30.1	840	39.5	841	41.1	606	40.6	115.2	0	
23.3 予	今回	3,000	8.0	700	-16.7	700	-16.8	500	-17.5	94.8	0
	前回	4,000	44.0	1,000	19.0	1,000	18.9	700	15.5	132.7	0
会社予想	今回	4,000	44.0	1,006	19.8	1,002	19.1	695	14.7	131.9	0
24.3 予	今回	3,800	26.7	900	28.6	900	28.6	650	30.0	123.3	0
	前回	5,400	35.0	1,300	30.0	1,300	30.0	900	28.6	170.7	0
25.3 予	今回	5,000	31.6	1,200	33.3	1,200	33.3	850	30.8	161.2	0
	前回	7,500	38.9	1,700	30.8	1,700	30.8	1,200	33.3	227.5	0

(図表1) 損益計算書

(単位:百万円)

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期予	2024/3期予	2025/3期予
売上高	1,851	2,134	2,777	3,000	3,800	5,000
(前期比)	14.8%	15.3%	30.1%	8.0%	26.7%	31.6%
営業利益	257	602	840	700	900	1,200
(前期比)	-7.2%	134.2%	39.5%	-16.7%	28.6%	33.3%
(利益率)	13.9%	28.2%	30.2%	23.3%	23.7%	24.0%
経常利益	256	596	841	700	900	1,200
(前期比)	-3.0%	132.8%	41.1%	-16.8%	28.6%	33.3%
(利益率)	13.8%	27.9%	30.3%	23.3%	23.7%	24.0%
当期純利益	153	431	606	500	650	850
(前期比)	-19.9%	181.7%	40.6%	-17.5%	30.0%	30.8%
(利益率)	8.3%	20.2%	21.8%	16.7%	17.1%	17.0%
EPS(円)	29.4	82.4	115.2	94.8	123.3	161.2
DPS(円)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
BPS(円)	307.6	389.3	467.4	562.2	685.5	846.7

(出所)決算短信、予想はいちよし経済研究所

(図表2) 事業別業績推移

(単位:百万円)

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期予	2024/3期予	2025/3期予
DXソリューション事業						
売上高	1,458	1,782	2,391	2,620	3,420	4,620
(前期比)	19.2%	22.2%	34.2%	9.6%	30.5%	35.1%
営業利益	424	747	975	850	1,050	1,350
(前期比)	3.9%	76.2%	30.5%	-12.8%	23.5%	28.6%
(利益率)	29.1%	41.9%	40.8%	32.4%	30.7%	29.2%
コンテンツ事業						
売上高	393	352	385	380	380	380
(前期比)	0.8%	-10.4%	9.4%	-1.3%	0.0%	0.0%
営業利益	79	102	108	100	100	100
(前期比)	-30.1%	29.1%	5.9%	-7.4%	0.0%	0.0%
(利益率)	20.1%	29.0%	28.1%	26.3%	26.3%	26.3%
利益消去	-246	-246	-243	-250	-250	-250

(出所)決算短信、予想はいちよし経済研究所

(図表3) 四半期業績推移

(単位:百万円)

	2022/3期						
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	上期 4-9月	下期 10-3月	通期 4-3月
売上高	625	662	672	818	1,287	1,490	2,777
(前年同期比)	80.6%	45.8%	26.1%	2.1%	60.9%	11.7%	30.1%
営業利益	199	190	169	282	389	451	840
(前年同期比)	637.0%	126.2%	31.0%	-22.3%	5.9%	-8.3%	39.5%
(利益率)	31.8%	28.7%	25.1%	34.5%	30.2%	30.3%	30.2%

	2023/3期予						
	4-6月	7-9月予	10-12月予	1-3月予	上期予 4-9月	下期予 10-3月	通期予 4-3月
売上高	486	600	750	1,164	1,086	1,914	3,000
(前年同期比)	-22.2%	-9.4%	11.6%	42.3%	-15.6%	28.5%	8.0%
営業利益	1	80	180	439	81	619	700
(前年同期比)	-99.5%	-57.9%	6.5%	55.7%	-79.2%	37.3%	-16.7%
(利益率)	0.2%	13.3%	24.0%	37.7%	7.5%	32.3%	23.3%

(出所)決算短信、予想はいちよし経済研究所

想定される主なリスク要因

(1) 顧客企業の業績悪化リスク

同社の主要顧客は、補助金や助成金が必要な中小零細企業である。景気低迷に伴い、顧客の財務状況が悪化した場合、同社の事業に影響を与える可能性がある。

(2) 補助金や助成金の縮小リスク

財政悪化に伴い、補助金や助成金の予算が縮小した場合、同社の業績に影響を与える可能性がある。

『レポート表記上の注記事項』

- ・ 会社予想以外の予想はいちよし経済研究所。本文および図表での前期比は、注記なき場合は増減率。
- ・ 四半期の数字は注記なき場合は当経済研究所推計。
- ・ 図表における前期比の数字は原則として百万円未満を切り捨てて算出しているため、決算短信に表示される数字と若干異なる場合があります。
- ・ 株式分割があった場合はフェアバリュースも遡及修正を行います。
- ・ 公募増資等があった場合のEPSは期間按分した修正EPSとします。
- ・ 1株あたり配当については、株式分割等があっても遡及修正を行いません。
- ・ ユニバース銘柄は原則として定期的にフォローする銘柄を指します。
- ・ 業績表の前回予想の前期比(%)は前回予想に基づく伸び率を表示しています。
- ・ 純利益は、当期純利益(単独)、親会社株主に帰属する当期純利益(日本基準、連結)、親会社の所有者に帰属する当期利益(IFRS)、当社株主に帰属する当期純利益(米国基準)を表示しています。

『金融商品取引法に基づく表示事項』

本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等： いちよし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第24号

加入協会： 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

手数料等およびリスクについて

株式等(ETF、ETN、REITを含む)の売買取引には、約定代金に対して最大1.43%(最低手数料3,300円)(税込み)の委託手数料をいただくこととなります。株式等は価格の変動等により、損失が生じるおそれがあります。外国株式は為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

『アナリスト証明』

私、伊藤 研一は本レポートに記載された見解が私個人の見解を正確に反映していることを表明します。また、このレポートの執筆にあたり、第三者からの強要・示唆・依頼等、いかなる圧力も受けておりません。私は本レポートを執筆することにより特別の報酬を得ることはありません。また、私及び私の家族は本レポートの対象企業の有価証券を保有しておりません。

『いちよし証券及びいちよし経済研究所の免責事項』

この資料は、いちよし証券より対価を受け、公表されたデータ等に基づいて作成されたものですが、過去から将来にわたって、その正確性、完全性を保証するものではありません。投資の参考となる情報の提供を目的としたものですので、銘柄の選択、投資時期等の投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断でお願い致します。有価証券投資は株価の変動により、または発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。投資によって発生する損益はすべて投資家の皆様へ帰属します。記載された見解等の内容はすべて作成時点でのものであり、今後予告なく変更されることがあります。金融商品取引所や証券金融会社が行う信用取引等に関する規制措置等は、新規に追加および解除されても表示することができません。

いちよし証券又はいちよし経済研究所及びいちよし証券の関係会社は、この資料に記載された銘柄の有価証券を保有又は売買する場合、及びこの資料に記載された企業に対し投資銀行業務を行う場合があります。

この資料は、いちよし証券又はいちよし経済研究所及びいちよし証券の関係会社から、直接提供するという方法でのみ配付しております。また著作権はいちよし証券に帰属しています。未許可での使用、複製の作成や発表を禁じます。

『いちよし経済研究所のレーティングシステム』

レーティング(フェアバリューに対するレポートに記載した株価との乖離率)

20%超割安 A(買い)、20%割安~20%割高 B(中立)、20%超割高 C(売り)。

「中止」はレーティングを失効させる場合、「保留」は一時的にレーティングを停止する場合に用います。

その他の指標

リスク(財務・業績変動リスク、経営者リスク等を考慮したリスクの総合判断)

ローリスク LR、ミドルリスク MR、ハイリスク HR。

アナリストの判断によりレーティングを付与している銘柄をレーティング「中止」あるいは「保留」とすることがあります。

お問い合わせの際は最寄りの取引部支店までご連絡ください。

(C)Ichiyoshi Securities Co.,Ltd. 2022 All Rights Reserved